

第78回国際獣疫事務局(OIE)総会の概要について

第78回OIE総会が5月23日(日)～28日(金)の日程で開催されましたので、その概要についてお知らせします。

- 1 国際獣疫事務局(OIE)総会(第78回)日程及び出席者
日 程：平成22年5月23日(日)～28日(金) (於：パリ)
出席者：消費・安全局動物衛生課国際衛生対策室長ほか

- 2 OIEコードについて、以下のような改正が決定されました。
 - ① 動物福祉の家きんに関する基準の追加
⇒ 動物福祉の家きんに関する基準が、我が国の意見を踏まえて、食鳥処理場に運ばれてきた鶏の翼折れの発生率(2%を超えない)に、「検討中」を付して採択
 - ② 口蹄疫のコンパートメントに関する条件の追加
⇒ 口蹄疫のコンパートメント※に関する新規条項を追加
※ 発生国内にあっても一定の条件のもとで清浄と認められる施設等
 - ③ BSEに関する特定危険部位(SRM)の月齢条件の変更
⇒ 「不明のリスク」の国のせき柱の月齢下限を12ヵ月未満から30ヵ月未満へ変更する等は見送られ、現行どおり

- 3 その他
我が国の動物医薬品検査所及び(独)農研機構動物衛生研究所が、アジアにおける家畜疾病の診断及び防疫と動物医薬品評価の技術協力を推進するコラボレーティングセンターに認定されました。
なお、日本における口蹄疫の発生については、アジアにおける最近の流行の一つとして報告されましたが、特に議論にはなりませんでした。